



JICA いちおし 6月号

(2018年6月7日発行)



* 国名にはリンクを張っております。あわせてご確認ください。

グアテマラ

いちおし!

技プロのパイロット市が「市運営ランキング」県別1位を獲得!

当国終了済み技プロ案件「地方自治体能力強化プロジェクト (PRODECA GL)」^{注1} (2013年～2016年) のパイロット市であるサンマルコス県イシチグアン市が、グアテマラ政府が全国340市を対象に実施する2016年「市運営ランキング」^{注2} で、全国11位、県別では1位(全30市)を獲得しました。2013年に、同ランキングが実施された際は全国32位だったことから、近年の技プロ関係者の努力により市の運営能力が向上したことが数値で確認できました。



市長(右)によるコミュニティ訪問の様子

特に、同市は「生活改善アプローチ」を通じた住民参加を推進しており、なんと「市民参加度」部門では全国4位を獲得! 今後は「生活改善アプローチ」を活用した地方自治体のモデルとなり、技プロ成果の普及への貢献が期待されます。

^{注1} 「地方自治体能力強化プロジェクト (PRODECA GL)」: 地方自治体を対象に「生活改善アプローチ」を通じた社会開発事業の実施能力の向上を目標としたプロジェクト。

^{注2} 「市運営ランキング」: 市役所業務を「市民参加度」、「情報公開度」等の6分野に分類・点数化し、全国340市の運営能力を比較したもの。

いちおし!

子供達にとりわかりやすい授業を目指して

グアテマラでは児童の算数学力向上のため、息の長い協力が続けられており、その成果の1つとして、技術協力プロジェクトで作成された小学校の教師用指導書と生徒用教科書が国定教材として全国へ配布されています。

その国定教材が正しく使用されるよう、現在も小学校教育隊員が現地の教育関係者へ指導を行っています。昨年12月には、各隊員が活動する地域の教育関係者60名を集め4日間の研修を開催し、授業研究を通じた持続可能な教育改善をテーマに、教育事務所、学校長、教師達が一緒になり地域毎の活動計画を策定しました。

また、研修実施から約半年が経過する今年5月末には、同計画の実施状況の報告会が予定されており、グアテマラ側の関係者が主体となり持続的に授業研究を行うための取組みが続けられています。

更に、当国教育省から、小学校の算数教材に続き中学1～3年生の数学教材作成の要請を受け、現在、新たな技術協力プロジェクトを実施しており、2019年1月にはその成果品が国定教材として全国へ配布される予定です。

これにより、小学校1年生から中学校3年生まで、一貫して日本の協力により作成された教師用指導書と生徒用教科書が国定教材として使用されることとなります。

グアテマラの国内で、子供達にとりわかりやすい算数・数学の授業を彼ら自身の力で継続的に実施できるよう、今日も日本の専門家と協力隊員は現場で奮闘しています。



教育専門家と協力隊員によるアドバイス



様々な教育関係者が協働して計画を策定

[表紙へ](#)

ブラジル

いちおし!

**顔認証・感情解析 AI/IoT ソリューションを提供する(株)アロバと
超高压処理装置製造会社の(株)東洋高压がブラジルでの調査を開始**

6月第一週から JICA の中小企業海外展開支援スキームを活用し、2社の企業がブラジルで調査を行います。顔認証・感情解析 AI/IoT ソリューションを提供する(株)アロバでは同社のテクノロジーを使いブラジルの都市犯罪防止に貢献する狙いです。超高压処理装置を製造する(株)東洋高压は同社の技術で食品の付加価値向上、ひいてはブラジルの物流インフラへの寄与を目的としています。



(株)アロバの顔認証・感情解析 AI/IoT ソリューション



(株)東洋高压の高圧処理装置

いちおし!

7月4日・5日で「褥瘡セミナー」を2都市で開催!

ブラジルでは日本と比較して約3~5倍の褥瘡（床ずれ）が発生していると推測されています。この様なブラジルの医療問題に対応すべく、褥瘡予防の医療用マットレスを製造・販売する株式会社シーエンジが JICA の中小企業海外展開事業スキームを活用してサンパウロ（7月4日）とベロ・オリゾンテ（7月5日）で山口県立大学から褥瘡専門の田中マキコ教授を招いて「褥瘡セミナー」を開催します。



セミナーの招待状



(株)シーエンジの網状三次元構造体クッション材

[表紙へ](#)

以上